

最初にお読みください

事故防止のため、

運転中は絶対に操作しないでください。

このたびは、当製品をお買い上げいただき
まことにありがとうございます。

この取扱説明書はご使用前によくお読みいただき、大切に保管してください。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 本機の取り扱いについて、使用上の注意事項などから逸脱しての使用によって生じた障害および損害については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 運転中は画面を注視したり、操作をしないでください。交通事故やけがの原因となります。
- 本機の故障、誤動作または不具合によるmicroSDカードなどの保存データの消失等については補償できません。
- 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

バイク用 5.5インチ スマートモトミラー

BDVR-C003

【取扱説明書】

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。

警告

- **本機は12Vバッテリー搭載車専用です。**
6V車やバッテリーレス車等へは、取り付けしないでください。
火災や故障の原因となります。
- **本機を分解したり、改造しないでください。**
事故、火災、感電の原因となります。
- **電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。**
電源コードの電流量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- **表示しないなどの故障状態で使用しないでください。**
事故、火災、感電の原因となります。
- **万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、ただちに使用を止めて電源をOFFにして下さい。**
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- **運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。**
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。**
- **機器内部に水や異物を入れないでください。**
発煙、発火、感電の原因となります。
- **雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。**
落雷により、感電の危険性があります。
- **本機を使用するために、禁止された場所に駐停車しないでください。**
- **microSDカード挿入口に異物を入れないでください。**
火災や感電の原因となります。
- **乳幼児の手の届かない場所に保管してください。**
付属品を誤って飲み込んだり、怪我の原因となります。

安全上のご注意



- 本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。
火災、故障のおそれがあります。
- 夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、素手で触らないでください。
直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- 煙、匂い、発熱、異音等の異常現象がある場合は、ただちに使用を止めて電源をOFFして下さい。
発煙、発火、感電、故障につながります。
- バイク等の運転中に本機の操作はしないで下さい。
本機の操作は運転前か終了後に行ってください。
- 極端な高温や低温でのご使用は、誤動作や故障の原因となります。
- 本機を強くたたく、ものをぶつけるなどの強い衝撃をあたえないでください。
故障や破損の原因となります。
- 本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。
変形や変質、破損の原因となります。
- 磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。
キズの原因となります。
- 電源ケーブルや各 부품のケーブルを傷つけたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりしないで下さい。
- 電源ケーブルや各 부품のケーブルの芯線の露出、断線などがあつた場合は、販売店にご相談下さい。
そのまま使用すると、感電、発熱、火災、の原因になります。
- 電源ケーブルや各 부품のケーブルを改造したりしないで下さい。
火災、感電の原因になります。
- 電源ケーブルや各 부품のケーブルは必ず付属のものをご使用ください。
また他の製品に使用しないで下さい。
火災、感電の原因になります。

無線LANに関する注意

- 本製品は、技術基準適合証明を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。なお、日本国内以外で使用する場合には、各国の電波法に抵触する恐れがあります。
- 本製品には技術基準適合番号が刻印されています。この番号を消した状態で使用すると電波法違反となります。
- 分解したり改造したりすることは電波法で禁止されています。絶対におこなわないでください。
- 本製品は 2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、本製品の通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。
- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本製品の電源を切ってください。
電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 本製品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因となることがあります。
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- 本製品はすべてのスマートフォンとの接続動作を確認したものではありません。そのためすべてのスマートフォンとの動作を保証するものではありません。

取付上のご注意

- 取付作業は環境の整った、専門知識のある作業者がいる修理工場や車両販売店での取付をおすすめします。
- 商品可動部の調整、部品の組み換え、車体への取り付けと装着は全て使用者本人の責任において行ってください。
- 取付作業の際は、安全の為、車両側の電源OFF状態で作業し、必要に応じて電源ONで通電等の機能確認をお願いします。
- 作業後は必ず各システムの動作確認(車両側、本製品側)をお願いします。
- 取付後、約50km走行しましたら、各部を点検してネジ部の増締めを行ってください。
- その後は、約100km毎に必ず点検し、同様の増締めを行ってください。

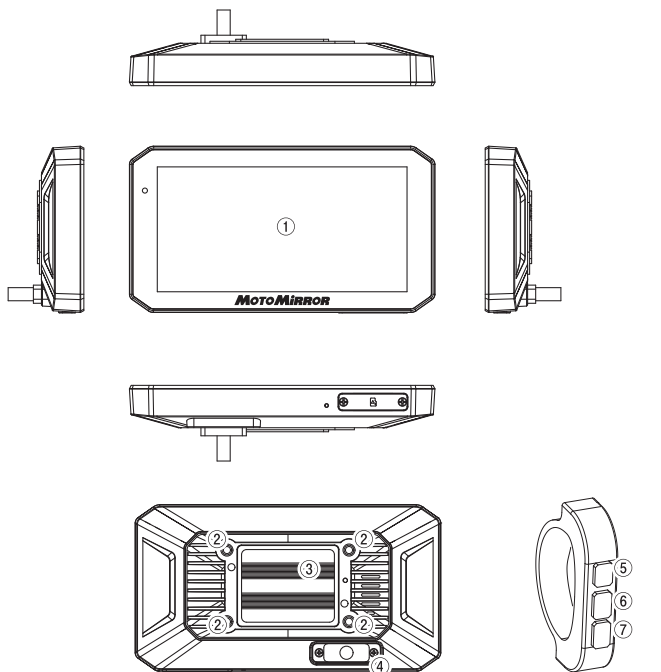
本製品の防水性能について

- 本製品の本体、カメラは防水規格IP65相当の仕様となっています。
 - ※防水性能は当社試験方法によるものです。
 - ※完全防水ではありませんので、水中では使用しないでください。
- 本製品の各部品への内部浸水/結露による故障は、保証期間内であっても保証対象外となります。あらかじめご了承ください。
- 本製品をご使用の際は、湿気や高温(50℃以上)、極端な温度変化のある環境下を避けてください。

お手入れについて

- モニター本体
モニター表面が汚れていると映像が見えにくくなることがあります。
あらかじめ乾いた柔らかい布などで汚れをそっと拭き取ってください。
- リアカメラ
カメラのレンズが汚れていると鮮明な画像が得られません。
水滴やホコリなどが付着した時は水で湿らせた柔らかい布でレンズを清潔にしてください。

本体各部名称



コントロールスイッチ

- | | |
|----------------|-----------|
| ①液晶画面 | ⑤前の画面に戻る |
| ②モニターバイザー固定ネジ穴 | ⑥電話に出る |
| ③放熱シート | ⑦ホーム画面に戻る |
| ④防水ゴム付きコード | |

取り付けの前に

■作業の前に

- 異常発生時やお問い合わせはまず、購入された販売店、またはサポートにご相談ください。お客様による修理/分解は、絶対おやめください。
- 取り付け前に構成部品をご確認ください。
- 取り付けには、内張り外し道具、養生テープ、布、ドライバー（プラス、マイナス、星形T20）、10mmレンチ、電動ドリル（8.5mm）、ニッパー、ペンチ、カッターナイフ、結束バンド、通線ワイヤー、マスキングテープ、脱脂剤、はさみ、センターポンチまたはマジックペン、保護メガネ、保護手袋が必要です。
- ねじやボルト、ナットの取り付けには、サイズの合う工具をお使いください。

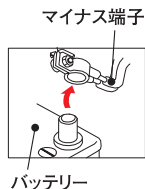
■作業の進め方

- 1.各部品の取り付け位置を決める
取り付けレイアウトを参考に各部品の取り付け位置を決めます。
※必要に応じ、車両の部品（シートなど）を取り外してください。
- 2.本取付前に動作確認する
- 3.車両側の部品取り付け場所を清掃する
両面テープで貼り付ける部分の油分や汚れを取り除くため、無水アルコールなどでよく拭き取ります。
- 4.本体・各部品を車両に取り付ける
- 5.各ケーブルを接続する
- 6.取り外した車両部品を元通りに復元する

■本体の動作確認

本取付前、製品が正しく動作するか仮配線して確認してください。

- 1.バッテリーのマイナス端子を外す。
- 2.本体に各部品のケーブルの端子を接続する。
- 3.電源ケーブルを接続する。
※ACC端子:車両のイグニッションキーがONのときに12V、OFFのときに0Vとなる線に接続する。
※GND端子:車体のアースに接続する。
- 4.動作確認する（フロント/リアカメラ映像表示など）。
- 5.電源OFFにする。バッテリーのマイナス端子を外し、本取付を行う。



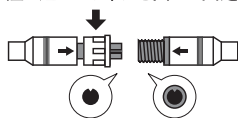
マイナス端子を外す際の注意

- 純正カーナビの暗証番号の再入力が必要な場合があります。
- 純正カーナビの設定がリセットされます。
- 時計がリセットされます。
- その他、電子機器の再設定が必要です。

取付について

本体と各ケーブルの接続は、下図のようにコネクタの色を合わせて接続するだけで完了します。コネクタ同士は矢印に合わせて差し込み、ネジを回して固定します。

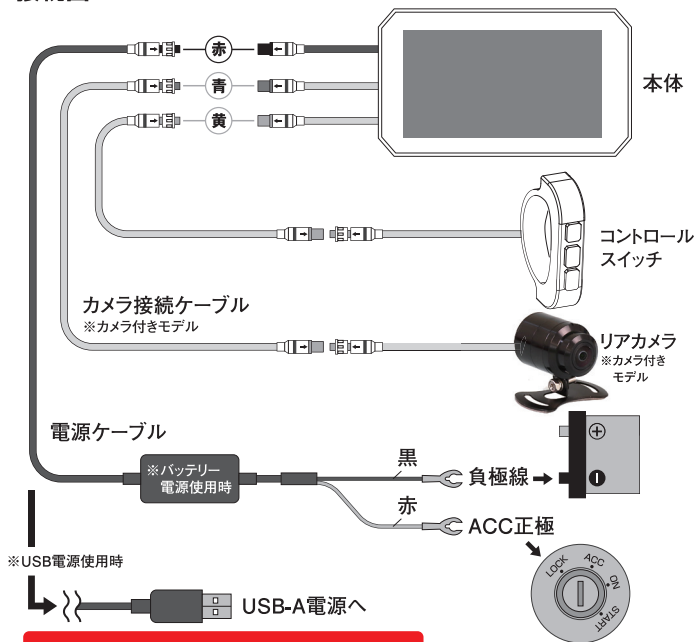
差し込んだらネジを回して固定



注意

- 無理な接続はコネクタの破損や故障の原因となります。
- バイクへの取付は専門業者のご利用をおすすめします。

接続図



本体動作電圧:DC 5V 電流:1.5A以上

取り付け方法

車両メーカーや車種によってそれぞれの取り付け方法が異なります。
商品の不具合や取り付けには危険が伴いますので、必ず専門知識を有する取り付け業者が行ってください。

本体を車両のハンドル等のパイプへ取り付ける

本体はハンドル等のパイプへ装着する事が可能です。装着部の径に合わせスペーサーをご使用ください。

●取付方法について

- ①ブラケットのボールジョイントボルトを緩めて、本体とブラケットを組み合せます。
本体とブラケットを組み合わせたら、ボールジョイントボルトを仮締めしておきます。
- ②ブラケットのクランプ部のボルトを外し、クランプを分割します。
パイプのストレート部分に仮止めし、取り付ける位置を確認します。



取り付け方法

- ③必要に応じてスペーサーをパイプに仮止めし、クランプを取り付け仮締めします。
- ④取り付けしたブラケットの向きを調整し、グラつきがないようにボールジョイントボルトとクランプボルトをしっかりと締めます。
ハンドルを左右にきって、本体と接触する部分がないか、運転操作に影響がでないか確認してください。
走行前には、緩みがないか点検してください。
各部を点検し、異常がなければ作業は終了です。



グラつきがないか
確認する

しっかりと締める

緩みがないか
確認する

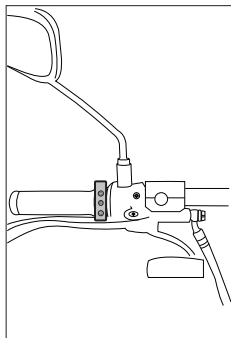
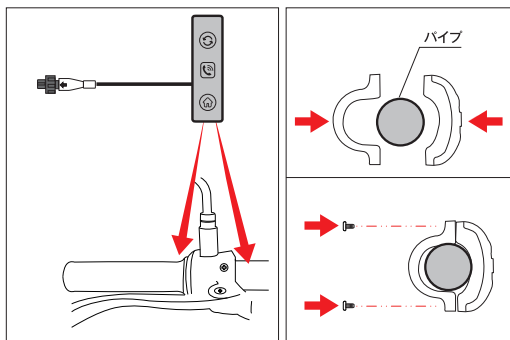
取り付け方法

コントロールスイッチを取り付ける

●取付方法について

ハンドル等のパイプへ装着する:

コントロールスイッチの固定ねじを緩めて、パイプのストレート部分に仮止めし、取り付ける位置と角度を確認してから、固定ねじをしっかりと締めます。



取り付け方法

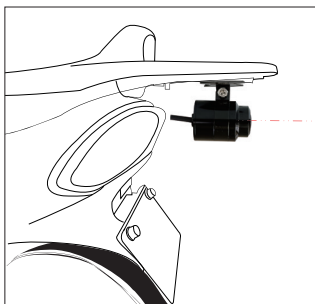
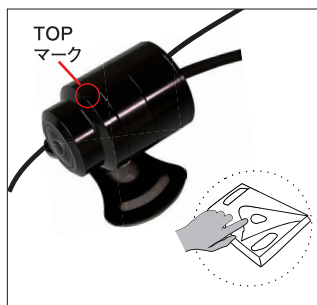
フロント/リアカメラを取り付ける ※BDVR-C003Cのみ

●取付方法について

- ①運転操作に支障がなく、車両の走行振動や揺れの影響が少ない場所に取り付ける位置を確認します。
- ②カメラステーの固定ねじを緩めて、取り付ける場所に合わせてカメラの角度(上下)を調整し、カメラ前部のTOPマークが上になるようにカメラを回転させ調整します。
- ③決めた取り付け位置の汚れをウェスなどでよくふき取った後に、市販のアルコールクリーナーで脱脂してください。
- ④カメラステーに貼り付けられている両面テープの保護シートをはがし取り付け位置にしっかり押し付けて固定します。

※装着の強度を確保するため、接着面の隙間がないことをしっかり確認してください。

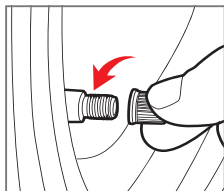
※接着後24時間はカメラステーに負荷を掛けないでください。



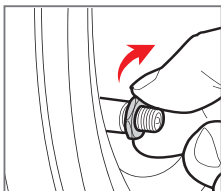
取り付け方法

タイヤ空気圧センサーを取り付ける

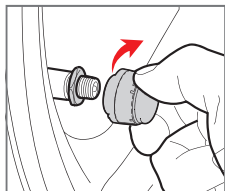
●取付方法について



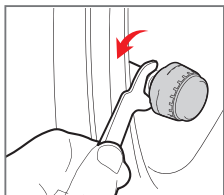
①タイヤのバルブキャップを外します。



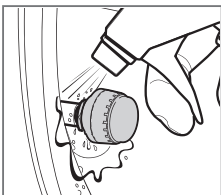
②付属のナットを時計回りにしてバルブの奥まで回してください。



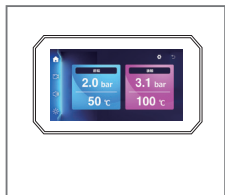
③タイヤ空気圧センサーを時計回りにしっかりと締め付けます。



④付属の専用レンチを使ってナットを反時計回りに回して締め付けます。

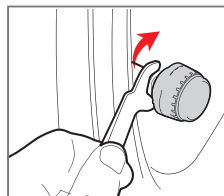


⑤バルブとタイヤ空気圧センサーの付近に石鹸水などをかけて、空気漏れがないか、確認してください。

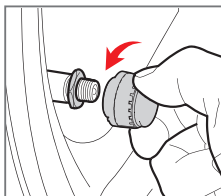


⑥本体の画面にタイヤ空気圧値や温度値が正常に表示されるか、確認してください。
※事前に空気圧センサーとペアリングを行ってください。

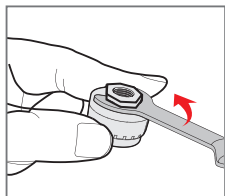
●タイヤ空気圧センサーの電池を交換する



①付属の専用レンチを使ってナットを時計回りに回して緩めます。

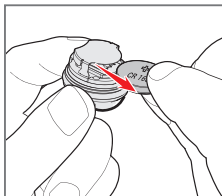


②タイヤ空気圧センサーを反時計回りに回して外します。

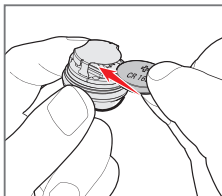


③付属の専用レンチを使ってセンサーキャップを反時計回りに回して外します。

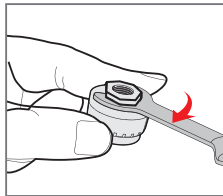
取り付け方法



④ 付属の電池(CR1632)を取り出します。



⑤ 新しい電池(CR1632)に交換します。
※+(プラス)面を上にして奥まで差し込みます。



⑥ 付属の専用レンチを使ってセンサーキャップを時計回りにしっかりと締め付けます。

! タイヤ空気圧センサーを装着する際、バルブに水分が付着した状態で装着すると、タイヤ空気圧センサーが故障する場合があります。
装着部をしっかりと乾燥させてから取り付けてください。

ホーム画面

本機が起動すると、次の画面(ホーム画面)を表示します。
ホーム画面の各アイコン、ボタンについて説明します。



① 「ホーム」 ボタン

ホーム画面へ戻ります。

② 「カメラ」 ボタン

カメラ画面に切り替えます。

③ 「スピーカー」 ボタン

本体スピーカーの音量調整ができます。

④ 「明るさ」 ボタン

液晶画面の明るさを調節できます。

⑤ Bluetoothインジケーター

Bluetoothがオンの時点灯します。

⑥ Wi-Fiインジケーター

Wi-Fiがオンの時点灯します。

⑦ 「CarPlay」 ボタン

CarPlay接続画面へ切り替えます。

⑧ 「Android Auto」 ボタン

Android Auto接続画面へ切り替えます。

⑨ 「設定」 ボタン

設定画面へ切り替えます。

⑩ 「タイヤ空気圧」 ボタン

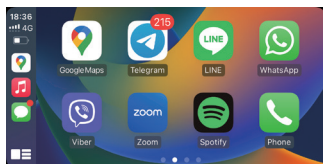
タイヤ空気圧表示画面へ切り替えます。

CarPlay／Android Autoについて

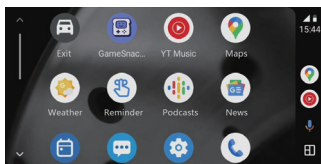
CarPlayやAndroid Autoをワイヤレスで接続できます。

●接続方法

- 1.本機のWi-Fiをオンにした状態で、CarPlayもしくはAndroidAutoのアイコンをタップして接続待機画面を表示します。
- 2.iPhone/AndroidスマートフォンのBluetoothとWi-Fiをオンにして、スマートフォン端末のBluetooth設定から本機とペアリングします。
- 3.ペアリングが完了すると自動的に接続されます。



Apple CarPlay



Android Auto

●注意事項

最初の接続では、携帯端末のBluetoothをオンにし、本機のBluetoothに接続5～10秒待ち、携帯端末のポップアップウィンドウに入ってCarPlayを使用します。携帯端末のCarPlayインターフェースは自動的に通信されます。本機のBluetooth/Wi-Fiがオンになっている限り、次回から起動時は自動的に接続され、接続作業は必要ありません。

※最初の接続では、接続に多少の時間が必要となります。

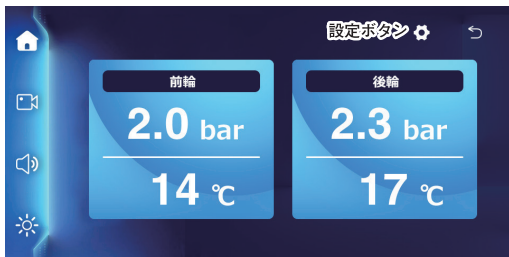
※Bluetoothは認証後に自動的に切断されます。

タイヤ空気圧センサー機能を使う

※タイヤ空気圧センサー装着時

■タイヤ空気圧機能を設定する

「ホーム画面」の「タイヤ空気圧」ボタンをタップすると、タイヤ空気圧の画面へ移行します。



●空気圧値の設定

アイコンのカラーで各種ステータスを表示します。

- ・ブルー:正常または未接続状態
- ・ピンク:異常

空気圧値:2.0bar以下または3.0bar以上



ブルー



ピンク

タイヤ空気圧センサー機能を使う

ペアリング手順:

※タイヤ空気圧センサー装着時



タイヤ空気圧設定画面

1. 「タイヤ空気圧設定」ボタンをタップし、設定画面へ行きます。
2. タイヤ空気圧センサーを前輪に取り付けます。
3. 「前輪」ボタンをタップして、「更新」ボタンをタップします。
本機が受信すると、タイヤ空気圧センサーの画面に「空気圧」と「温度」の数値が表示されます。
4. タイヤ空気圧センサーを後輪に取り付けます。
5. 同様に「後輪」ボタンをタップして、後輪の接続設定をします。

設定画面

設定画面では本機システムの各種設定を変更できます。



【設定項目】

鏡像

鏡像画面の設定をします。

言語設定

表示言語の設定をします。

オーディオ出力

音声出力先の設定をします。

ファームウェアバージョン

本体ファームウェアのバージョンを確認できます。

Bluetoothバージョン

本体Bluetoothのバージョンを確認できます。

工場出荷状態に戻す

本体の設定を消去し、工場出荷状態に戻します。

コントロールスイッチを使う

コントロールスイッチを使用することで、
本機の画面に触れなくても表示画面の切り替えや
録画を保護するなどの操作が可能になります。



●コントロールスイッチの各種機能

 切り替え ボタン	短押し	リアカメラ映像表示(モトミラーモード)画面に切り替えます。 もう一度短押しすると、元の画面に戻ります。
	15秒長押し	本機の電源が切れます。
 受話 ボタン	短押し	Carplay/Android Autoの ご利用中に着信が入るとき ⇒着信を応答します。
 ホーム ボタン	短押し	Smart Link画面とホーム画面を切り替えます。
	5秒長押し	画面をロックします。 再度長押しすると、解除できます。

よくあるご質問

Q1.Car PlayまたはAndroid autoを切断するにはどうすればよいですか？

A: WiFi をオフにするか、Bluetoothデバイスをオフにしてください。

Q2.Car Play/Android autoを手動で切断した後、再接続するにはどうすればよいですか？

A: Bluetooth経由で本機に再接続するだけです。

Q3.再起動した後、Car play/Android autoに再接続するにはどうすればよいですか。

A:BluetoothとWi-Fiの両方が有効になっている場合は、自動的に再接続されます。

Q4.スマートフォンと接続できない

- ・スマートフォンのWLAN (Wi-Fi) 機能はONになっていますか？
 - ・WLAN (Wi-Fi) が繋がりにくい場所で作業を行なっていませんか？
 - ・スマートフォンとのWi-Fi接続時に入力したパスワードが間違っていないですか？
- ※本製品は、複数台のスマートフォンとの接続はできません。

本製品が既に他のスマートフォンとWi-Fi接続状態にある場合は、その接続を解除してからお試しください。